

2010年1月吉日

～ 森永製菓 男と女のバレンタイン意識調査 ～

今年もバレンタインも“巣ごもり”“草食”傾向！？

今年も彼氏と一緒にチョコを作って楽しむスタイルが登場！

昨年話題となった「逆チョコ」は今年も増加傾向

森永製菓株式会社（本社：東京都港区芝 社長：矢田雅之）は、バレンタインデーの時期における男女の関係を調査するために、10代から30代の未婚の男女（各400名 計800名）に「男と女のバレンタイン意識調査」を実施しました。

今年のバレンタインは不況のあおりから続く巣ごもり・節約傾向の影響を受け、多くのカップルが日曜日であるにも関わらず、外でのデートよりも家でゆっくり過ごしたいと思っているようです。「今年はどうなバレンタインを過ごしたいか」の質問には「料理やデザートを手作りして、家で食事を楽しみたい」（男性36.4%、女性42.2%）や、「家でDVDを観たりしてのんびり過ごしたい」（男性52.7%、女性58.5%）という回答が多くみられ、今年のバレンタインは家でイベントを楽しみたいと考えていることが判明しました。

さらに、今年もカップルで「一緒にチョコを作ってみたい」という願望があることも浮き彫りになりました。女性では6割以上（68%）、男性では7割以上（72.8%）が、「一緒にチョコを作ってみたい」と回答。家での過ごし方の一つとして、一緒に手作りを楽しみたいと考えているようです。

ただ、「一緒にチョコを作ってみたい」という願望がありつつも、男性は「自分から誘ってみたいか」の質問に「誘ってみたい」と回答したのは半数以下（43.2%）に留まり、一方で「誘われてみたいか」の質問に対しては、74.3%もの男性が「誘われたら一緒にチョコを作ってもいい」と回答しました。なお、「自分は草食・肉食どちらだと思うか」との質問に対しては、実に7割以上（74%）の男性が草食男子であると回答したことを考えると、異性への積極的なアプローチが苦手といわれる男性の“草食化”傾向は今や主流となりつつあり、今回のバレンタイン事情にも影響がありそうです。

また、昨年話題となった『逆チョコ』ですが、女性へ逆チョコをした経験がある男性は11.7%となる一方で、「今年もあげてみたい」という男性は27.2%と、逆チョコ人口も年々増加傾向にあるようです。

日本では女性がメインのイベントであったバレンタインにおいて、昨年は男性からの『逆チョコ』がブームとなり話題になりました。さらに今年も「カップルで一緒にチョコを作ってみたい」といった意見も多く見られ、店頭の手作りグッズ売り場も、バレンタインを家で楽しむカップルで賑わうかもしれません。『草食男子』や『弁当男子』に代表される近年の男女のボーダレス化の傾向は一般的にもポジティブに受け入れられつつあるようで、それがバレンタインにも波及してきた調査結果とも言えそうです。

調査概要

- 表題 : 男と女のバレンタイン意識調査
- 調査主体 : 森永製菓株式会社
- 調査方法 : アンケート調査 (インターネット調査による)
- 調査期間 : 2009年12月3日(木)~4日(金)
- 調査対象 : 10代から30代の未婚男性
10代から30代の未婚女性
- 回答人数 : 男性400名、女性400名
(男性400名、女性400名の内訳は下表の通り)

男性		女性	
高校生 / 高専生	100	高校生 / 高専生	100
大学生 / 短大生 / 専門学生	100	大学生 / 短大生 / 専門学生	100
会社員 (20代~30代)	200	会社員 (20代~30代)	200
合計	400	合計	400

各図の中の (S A) (M A) はそれぞれ以下を表しています。

(S A) 選択肢から1つを選択する回答形式

(M A) 選択肢から複数の選択を可能にする回答形式

各図の中の N は、その質問への回答者の数を表しています。

(例: N=400 は、回答者が 400 人)

数値は少数第二位を四捨五入しています。

男女共通篇

今年はバレンタインも“巣ごもり”傾向

* 「手作り」「のんびり」おうちでイベントを楽しみたいカップルたち

* 男性、女性ともにお金をかけない節約志向

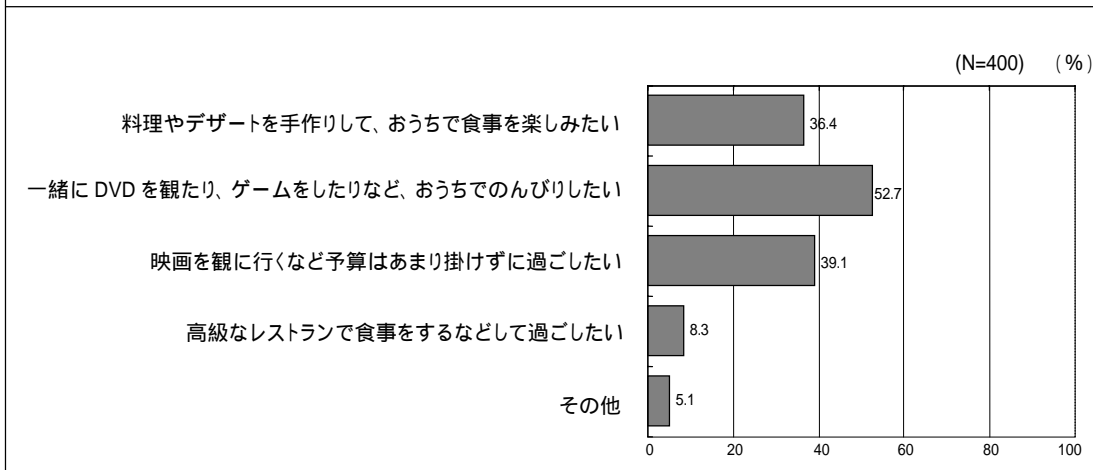
「手作り」「のんびり」おうちでイベントを楽しみたいカップルたち

今年のバレンタインは日曜日。そこで、「どんなバレンタインを過ごしたいですか?」と聞いたところ、「おうちでイベントを楽しむ」または、「お金をあまりかけない」という回答が多く見られました。

【図1】【図2】

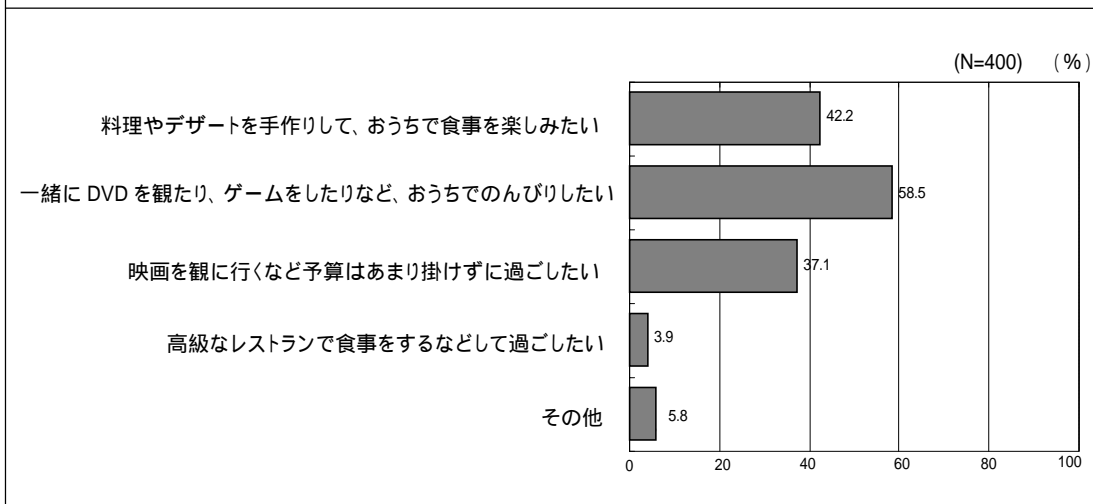
《男性》

【図1】今年のバレンタインは日曜日ですが、彼女とどんなバレンタインを過ごしたいですか。(MA)



《女性》

【図2】今年のバレンタインは日曜日ですが、彼とどんなバレンタインを過ごしたいですか。(MA)



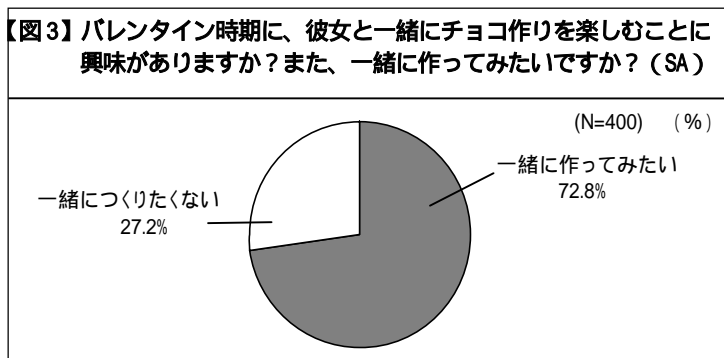
一緒に「手作り」を楽しみたい

* 今年のバレンタインは「一緒にチョコを作ってみよう」

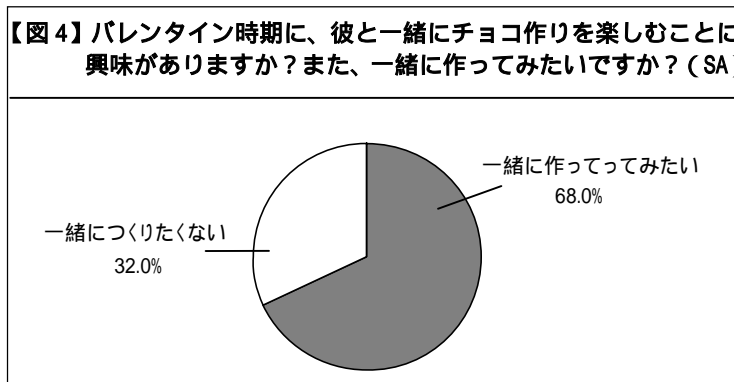
今年は「一緒にチョコを作ってみよう」

前項で、今年のバレンタインはおうちで過ごす予定のカップルが多いことがわかりましたが、さらに「一緒にチョコを作ってみようか」と聞いたところ、男性では7割以上(72.8%)、女性では6割以上(68%)が「一緒に作ってみよう」と回答。【図3】【図4】

《男性》【図3】バレンタイン時期に、彼女と一緒にチョコ作りを楽しむことに興味がありますか？また、一緒に作ってみようですか？(SA)



《女性》【図4】バレンタイン時期に、彼と一緒にチョコ作りを楽しむことに興味がありますか？また、一緒に作ってみようですか？(SA)

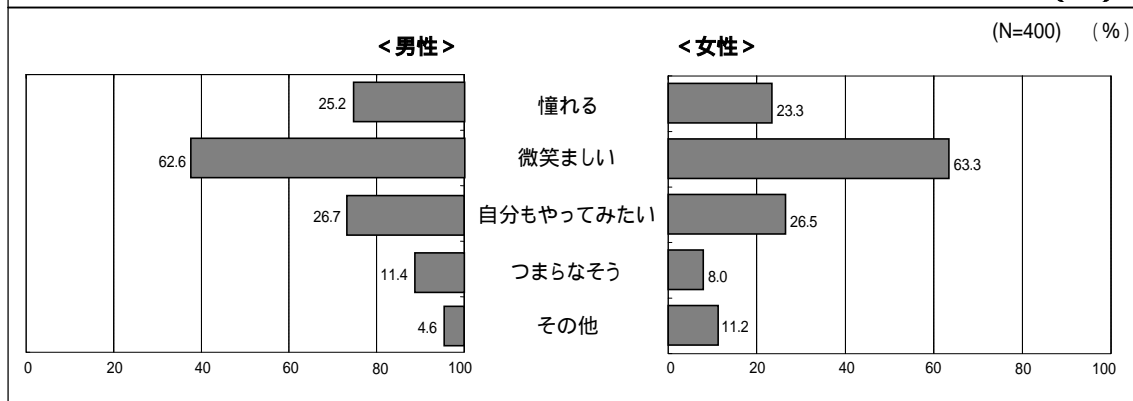


「一緒にチョコをつくる」イメージは「微笑ましい」

さらに「一緒にチョコをつくる」イメージを聞いたところ男女とも1位は「微笑ましい」、次いで「憧れる」「自分も作ってみよう」と続きました。仲のよいカップルを連想させる、ポジティブなイメージのようです。一緒に作ることで、2人の絆がさらに深まっていくかも…。【図5】

【図5】バレンタイン時期に、カップルで一緒に「手作りチョコ」を作ることをどう思いますか？

(MA)



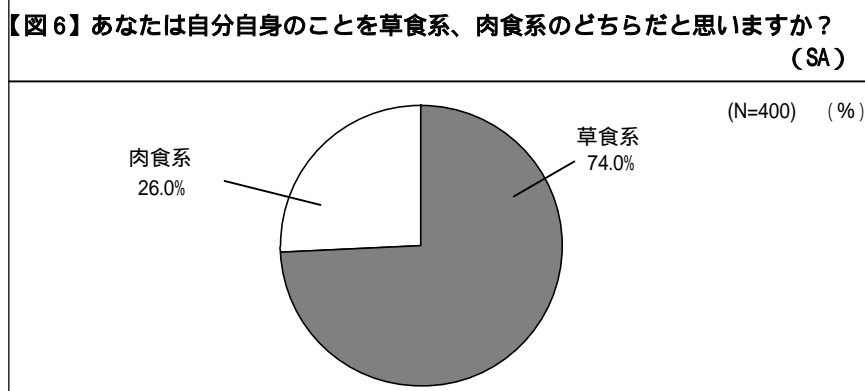
男性篇

誘うより誘われない、草食系男子の恋愛事情

- * 7割(74%)の男性は自他ともに認める草食男子
- * 「一緒に作ってみたい」けど、「誘われない」と思っている

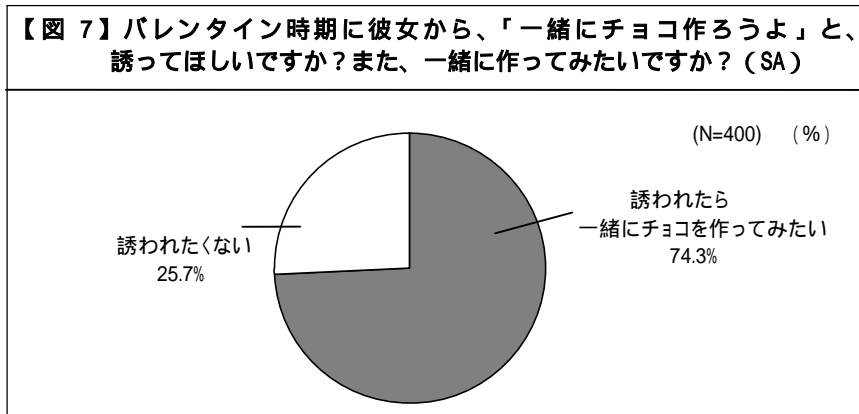
7割(74%)の男性が、「自分は草食男子」と回答

「あなたは自分自身のことを草食系、肉食系のどちらだと思いますか？」と聞いたところ、なんと7割もの男性が「自分は草食系」と回答。もしかしたら、自他ともに認める草食男子は今後さらに増えていくかもしれません。【図6】



「一緒にチョコを作りたい」けど、「女性から誘ってほしい」と思っている

恋愛に消極的といわれている草食男子。「『一緒にチョコ作ろうよ』と誘ってほしいですか？また、一緒に作ってみたいですか？」と聞いたところ、「誘われたら一緒に作ってみたい」と回答した男性は、なんと7割にものぼりました。【図7】



~ひとくちコラム part1~ 今年のバレンタインは肉食女子の狩りの場！？

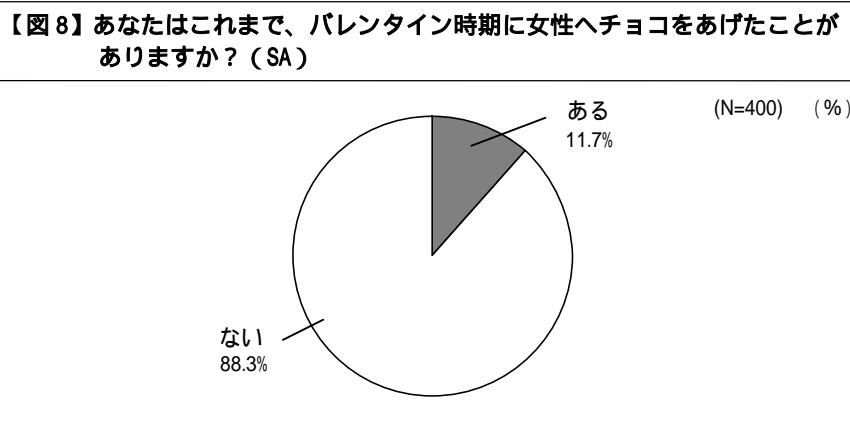
今や「草食男子」が流行語大賞にノミネートされるほど、世の男性の「草食化」が話題となっています。実際に今回の調査でも、自分が「草食」と認める男性が7割以上(74%)にも及びました。対照的に、女性では30代の女性の肉食自覚率が一番高く、ほぼ半数(47.6%)を占めています。調査結果にもあるように、自分から誘いづらい草食男子は今年のバレンタインは女子からの誘いを待っている可能性が高いようです。今年はお目当ての年下草食男子を「一緒にチョコ作ろうよ～」と誘ってみてはいかがでしょうか？

昨年話題となった「逆チョコ」人口は増加傾向！

- * バレンタイン時期に女性へチョコをあげたことのある男性は1割。
- * 今回のバレンタイン時期に、女性へチョコを贈ってみたい男性は3割弱。

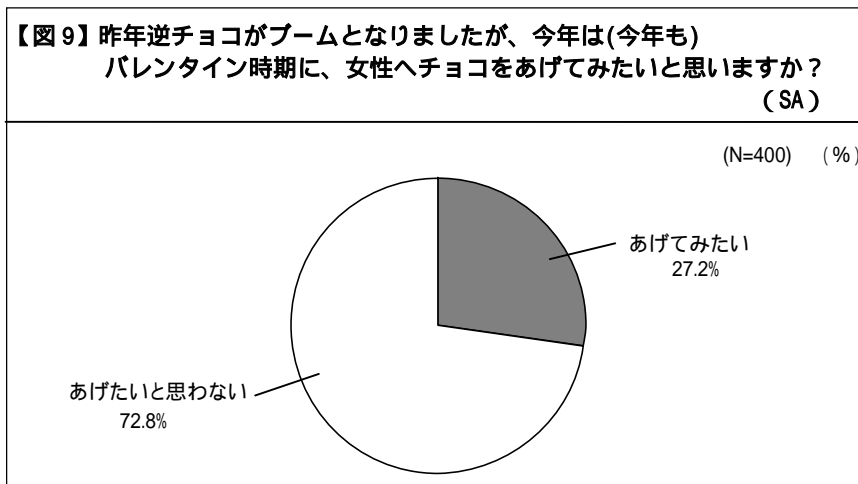
今まで、バレンタイン時期に女性へチョコをあげたことのある男性は1割

従来、男性はチョコをもらう立場でしたが、「これまで、バレンタイン時期に女性へチョコをあげたことがありますか？」と聞いたところ、11.7%の男性が「ある」と回答。【図8】



今回のバレンタイン時期に、女性へチョコをあげてみたい男性は3割弱

また、「今年のバレンタイン時期に女性へチョコをあげてみたいですか？」と聞いたところ、27.2%の男性が「あげてみたい」と回答。逆チョコ人口は年々増加傾向にあるようです。【図9】



~ひとくちコラム part2~ 男性は料理ができて当たり前時代に

「料理ができる」男性は男女ともに良いイメージがあるようです。女性への調査では、料理ができる男性に対してなんと98.8%もの女性が良いイメージをもっているという結果が出ました。相手からのアプローチを待っている草食男子こそ、「料理ができる」をさりげなくアピールすることで、女性から好意を抱いてもらえるきっかけになるかもしれません。今後は男性のステータスとして婚活にも不可欠な要素になるのではないでしょうか。

【ご参考】

男性が選ぶバレンタイン時期に「一緒にチョコを作りたい」と思う女性芸能人 トップ3

順位	名前	主な理由
1	ベッキー	明るくて楽しそうだから、丁寧に作り方を教えてくれそう、など
2	上戸彩	笑顔で食べてくれそう、楽しく作ってくれそう、など
3	スザンヌ	美味しく食べてくれそう、かわいいから、和みそう、など

女性が選ぶバレンタイン時期に「一緒にチョコを作りたい」と思う男性芸能人 トップ3

順位	名前	主な理由
1	水嶋ヒロ	かっこよくて手先が器用そう、家庭的なイメージだから、など
2	小栗旬	料理とかしなさそうだけど一緒にやってくれたら嬉しい、など
3	岡田将生	ドラマのイメージがあり、お菓子作りも上手そう、ほっとする、など